ニュース No.12 1930.6.14

ホシの狸オヤヂ遂に調停課へ泣き込む

あらゆる手段をつくして争議團の結束を乱さうとしたにも拘らず益々固くなるので、へこたれた宮尊タヌキオヤヂは遂に警視廳調停課へ泣き込み争議の調停をオ依もした。

調停課では昨日争議團へ会見を申込み争議團では代表五名に大沼氏は付添ひ出頭し「調停も結構だが僕達の要求を全部容れろ」とハネつけた。

會社側は折しも月末の一般工場の給料支拂日を争議團の動揺期と見て、かゝる手

だましい見たい※調停によって僕達を欺瞞しやうとしてゐるのだ。思ふて見よ!!

警視廳はブルジョア國家(労働者階級をメメするためのブルジョアジーの機関)の重大な一機関であることさ。調停課が一体誰の利益を擁護するものであるかは云はずして明かだ!!

資本家を擁護する調停絶対反対!!

☆

弾圧に対する準備なる

我々が弾圧によって争議團は自然と強固に益々戦斗的になって来た!、争議を勝たせる為には如何なる事もせねばならぬ。先日の弾圧によって争議團は強固な訓練されたのだ。今後何時、如何なる弾圧が加はらうと直ちにそれに応ぜるやうにし、一切の準備を積極的に

三、争議團本部 桐ケ谷

大崎警察署長 殿

三七五 三八八 三八九 〃 〃 〃 〃 〃 三七三 〃 〃 〃 〃 三七二 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

浦健次
渡辺銀次郎
元井孫彦
浅井植一
石井五十吉
小高金吾
木村富蔵
小林房次郎
田辺芳三
岡田松太郎
宮田吉之助
大田幸太郎
大宮健次郎
石川市郎
伊森久宗
阪詰佳大郎
増田登作
三浦潮男
順佐傳治郎
手塚宣土助
大沼英彦
直田勢
田中長作
池田銀三郎
吉川梅太郎